



Here Comes the Sun Vol.9

Himawari Theatre Group Inc.

Here Comes the Sun vol.9

Contents

03 Feature

石川由依巻頭インタビュー

宮野真守

映画「巫人―衝動―」

東京国際映画祭レッドカーペットイベント

山田瑛瑠・西田光貴

「PAN ～ネバーランド、夢のはじまり～」

スイートペッパー(鈴木里奈・大川春菜・宮崎友海)

「にいがたキッズフェスティバル」

07 For Kids

ピックアップひまわり【福岡・北九州編】

08 Stage

ステージレポート

雪の女王(東京/大阪/福岡/熊本)

【新潟】「モモ」

【公演部】

「平成27年度 全国銀行協会 金融犯罪防止啓発活動」

〈ダメされないで! ～振り込め詐欺撲滅隊～〉

【名古屋】「専科発表会」

【札幌】ミュージカル『星の王子様』

【新潟】「赤毛のアン」

公演情報

【東京】Dance Connection 2015 ～Hero～

【大阪】Dance Festival 2015

【東京】Smash公演「影をなくした娘」

【東京】邦劇公演「誘拐―かどわかしー」

【東京】踊り初め

【北九州】チルドレンズ

砂岡事務所プロデュース「プリズンホテル 夏」

13 column

〈コラム〉劇団の視点

14 Actor's Appearance

砂岡事務所出演情報


ブルーシャトル出演情報

劇団ひまわり出演情報

22 Editorial Note

編集後記

Dance Connection 2014～より
Dance Connection 2015～Hero～の
公演情報は10ページに掲載!



6歳から劇団ひまわりに所属し、俳優として着実に
芸能活動続けてきた石川由依。
彼女が語る「好きなものを長く続けるコツ」とは…

巻頭インタビュー

石川由依

好きな事を長く続けるということ

芝居なしでは生きていけないと思いましたが、やめられなかったですね。

——今回のインタビューは「好きな事を長く続けるということ」というテーマでお話を伺いますが、これだけ長く芸能活動が続けてこれた理由は何だと思えますか？

親が転勤族で故郷らしい故郷がなかったんです。でも、ひまわりでは劇団の人達、スタッフの方達が小さい頃から自分を知ってくれていて、居心地が良くて。

ここに戻ってくれば自分の居場所を守れる気持ちもあったりしました。

小さい頃から人見知りなので、お芝居をすると自分じゃない人格にもなれて、友だちと仲良くなれたり、積極的になれたりするじゃないですか。だから芝居をしている時の自分が本当の自分という気持ちもあって、芝居がなくなると自分が自分でなくなってしまうような…。芝居なしでは生きていけないと思いましたが、やめられなかったですね。

——小さい頃や学生時代に芸能以外の興味はありましたか？

私は小さい頃から舞台や芸能以外にあまり興味がなかったんです。6歳の時に劇団ひまわりに入団して、最初の頃は芸能の仕事の意識がなくて、ピアノや習字のような習い事感覚で楽しくレッスンに楽しく通っていました。ずっと続けていたら今に至ってしまったので、途中で他の事がやりたいと思ったこともなかったんです。



石川 由依 (いしかわ ゆい)

「ヒロイック・エイジ」ディアネイラ役、「進撃の巨人」ミカサ・アッカーマン役、「ガンダムビルドファイターズ」コウサカ・チナ役、「アイカツ！」新条ひなぎ役、「遊戯王ARC-V」零羅役、「終わりのセラフ」雪見時雨役、「進撃！巨人中学校」ミカサ・アッカーマン役、「蒼穹のファフナーEXODUS」水鏡美三香役など数々の作品に出演。その他に、舞台や映像に出演するなど幅広く活躍している。



小学校高学年から中学1年生の頃には舞台に立ちたいと言っていた記憶がありますね。

——ちなみに小さい頃、俳優を目指す前になりたかった職業ってありますか？

幼稚園の時はアイスクリームを待ち時間にお客様に食べてもらう花屋さんになりたかったかな？ (笑)

小学校3、4年生の頃には歌手になりたいと言っていました。小学校高学年から中学1年生の頃には舞台に立ちたいと言っていた記憶がありますね。

——かなり小さい頃から俳優としての将来を意識されていたんですね。

元々大阪の劇団ひまわりに入籍して、劇団内の夏の公演には必ず参加していました。舞台に関わる機会が1年に1回はあり、舞台が楽しいと思っていました。

東京に来てミュージカルクラスに入籍してから、ミュージカルクラスの公演や、劇団ひまわりの本公演に出演するようになりました。そこで、やっぱり自分は舞台で生きていきたいなと改めて思いました。

——職業として俳優を続けていこうと思ったのはいつ頃からですか？

ちゃんと意識をしたのは大学生の頃からでしょうか。高校の頃から将来の職業としての意識はありましたけれど、まだ学生感覚もありましたし。大学生という肩書がなくなった後の事を見据えて初めて、職業としての意識を持った気がします。

——石川さんの将来のビジョンはありますか？ 例えば3年後何をしたい。とか

私の場合、様々なジャンルのお仕事の一つの選択肢として声優のお仕事で声をかけていただき、今では声のお仕事が多くなりました。

声優のお仕事も楽しいし、芝居がどうしたら上手くなるか常に考えています。

小さい頃から舞台が好きなので、スケジュール的に難しいかもしれませんが、3年後位には声優業と舞台が両立できるようになっていたらいいなと思っています。



——厳しくも優しいアドバイスありがとうございました。さて、今年も残す所わずかですが、今年1年振り返ってみて、来年はどんな事をしたいですか？

毎年早いとは言っていますが今年は異様に早かったです。ある意味充実していたからかもしれません。

2015年はスウェーデンにも行きましたし、日本国内でも、鹿児島から新千歳まで様々な場所に行かせていただきました。下半期はユニット活動もあって特に忙しかったですね。

声優業中心にやらせていただいて、より演技に対しても深く考えるようになりまして、いろいろな作品に関わるようになってより声優のお仕事を追究するようになりました。

——2016年の抱負やチャレンジしてみたいことはありますか？

修行したい(笑) 友達と滝修行したいね、って言っているんです。この仕事もそう簡単に続けられる仕事ではないですし、いつか息詰まる時が来るような気がして。

その為にも一回気持ちをリセットしてもっと視野を広げていきたいといいなと思っています。

本当に俳優を仕事にしたいなら長く続ける以外進む道はないと思います。

——これから俳優業に挑む方、今現在レッスンを頑張っている方に何か1つアドバイスをするとしたら？

長く続けるには……長く続けなければ、自分が本当にやりたいことは叶わないし、本当に俳優を仕事にしたいなら長く続ける以外進む道はないと思います。

だめだと思ったらやめればいい、他のことやってみたら、意外とそちらがやっているかもしれない。必要だと思うから必然的に長くなるんじゃないかなと思うんです。

——嫌々だったら続かないですね。

俳優のお仕事はもちろん努力も必要ですが、やみくもにやってもどうにかなるわけではないと思うんです。きっと自分ならできる！という気持ちを持った人が長く続けられると思うので。

私は好きだから続けてこられたけれど、誰かに言われて俳優を目指しているわけではないとも思うので、続けるか続けないかはやはり自分次第だと思います。

砂岡代表にお伺いしました！

『石川由依さんについて』



石川さんのイメージは一言で言えばこつこつと努力を続ける人です。このタイプは中嶋朋子さんもそうですが、本人はそれを苦とと思っている訳でなく自ら選んだ道を当然のごとくたんと取り組み、普通ならばこの辺までで良いだろうと思う所で決して手を抜かず、一段と掘り下げる作業を繰り返しますので、それが

成功への糸口に繋がるのだと思います。

感性を育むのは実はそういうさりげない反復継続の日常の習慣がみなもとなるのですが、普通の人にはなかなかできないのも事実です。興味が次々と現れそれを追っているうちに人生が終わってしまうからです。世間に流されずに、自分の生き方、目標を立てたらじっくりと取り組む姿勢が大事だと思います。

石川さんは小学生の時二人組みのユニットで「ドリーム・クエスト」(1997年～2000年までシアター代官山で毎月行われていた勝ち抜きライブ・イベント)にエントリーしていました。歌・ダンス共に上手で、表現に心が入っていて、何か人を惹きつけるものがありました。それが、「赤毛のアン」(2002年)「家なき子」(2003年,2005年)「空色勾玉」(2004年)「秘密の花園」(2005年)「銀河鉄道の夜」(2008年)など、劇団の名作ミュージカル・シリーズの主演を務めるきっかけとなり、今日の地位を獲得するに至ったと、私は確信致します。

stage 「雪の女王」東京公演ステージレポート

去る9月21日(月・祝)～27日(日)、『雪の女王』東京公演が、豊島区立舞台芸術交流センターあうるすぽっとにて、2バージョン3チームの上演パターンで上演されました。

ひまわり版は、日向薫の演じる雪の女王が芯をしっかりと締め、年少から青年までの出演者たちが舞台上を所狭しと歌い踊る、氷に閉ざされた世界の物語でありながら、熱い思いが伝わってくる舞台となりました。また、松田岳、田淵法明を中心としたブルーシャトルプロデュースのメンバーたちを中心としたBSP版は、ひまわり版が39名で演じるところを13名で演じる八面六臂の大活躍で、普段は出演しない女優が関わってもBSPの持ち味であるスピード感は落ちることなく、アクションとダンスの切れも一段と上がった上演となりました。



stage 「雪の女王」大阪公演ステージレポート

本年夏より熊本から福岡そして東京へと繋がれた『雪の女王』のバトンが、最終地の大阪にて、無事に大千稚楽を迎えました。10月29日(木)～11月1日(日)、ABCホールでの公演では全ステージのチケットが完売となり、連日超満員の会場に、合計1600名のお客様がご来場下さいました。大千稚楽では鳴り止まない拍手と幾度にもわたるカーテンコール、そしてスタンディングオベーションが巻き起こり、客席とステージが一体となった感動的なエンディングとなりました。

「ありがとう」のひとつに込められた思い。「大切なことは目に見えない」この歌詞を心に刻み、作品に関わったキャスト・スタッフ、全ての人が、明日からの日々も、大切に歩いていくことを願っています。



stage 「雪の女王」福岡公演ステージレポート

9月11日(金)～13日(日)の3日間、ももちパレスにて『雪の女王』福岡公演が上演されました。

熊本公演の熱気を受け継ぎ、福岡公演でも出演者とお客様が一体となり温かい空間の中、公演を終えることができました。一人一人が悩みながらも自分の役に向き合い、一緒に舞台を作り上げる仲間を思いやって、日々稽古に励みました。

お客様より「愛する者を救う一途な思いが心に響いた」「身近な人、大切な人に感謝の気持ちを伝えようと思った」「大切な心を持っている人でありたいと思った」などのお声を頂きました。

舞台上で経験したこと、沢山の拍手をいただいた感動を胸に、今後も九州から演劇を通して感謝の気持をお伝えできるよう頑張ります。



stage 「雪の女王」熊本公演ステージレポート

8月20日(木)～22日(土)の3日間、熊本市男女共同参画センターはあもにい メインホールにて『雪の女王』熊本公演が上演されました。

熊本公演は、4都市の中でのトップバッター！

初日を迎えるまで約3ヵ月間、精一杯稽古に励んできました。本番を迎え回数をかさねる度に、稽古の時とは違う、キラキラした表情で舞台上に立って演じていました。

大切な人を守るために戦う場面を殺陣で表現し、皆の心の中にある「善」と「悪」を歌やダンスに気持ちをのせて皆様にお届けしました。お客様からは「善なるものを大切に生きるというメッセージが伝わりました」「雪の女王にも悲しみが感じられ深いものがありました」といったお声を頂きました。

たくさんのご声援ありがとうございました。

ピックアップ ひまわり 【福岡・北九州編】

1に稽古！2に稽古！3に稽古！稽古しなければ舞台は仕上がらない。

春から稽古が始まりました。

初回の稽古では、場面ごとに役を分けて読み合わせをし、役がどのような感情なのか？場面はどのような状態なのか？等を演出家と出演者で意見交換をしながら、物語を理解していきました。6月の中旬からは、東京から歌唱デザインの佐々木先生と大阪から振付の柿谷先生が来福されてレッスンが始まりました。歌唱レッスンでは、体を使ったリズムの取り方や声をまっすぐ出すための方法等を習得し、舞踊表現では、一つ一つの動作や指先までの意識も細かく確認し、曲の間や余韻も身体全体で表現することを教わりました。今回の公演では、子供から大人までの総勢65名で1つの舞台を創り上げました。色んな年代が居る中で、互いに切磋琢磨しながらの稽古では、時に泣き、助け合いたくさんの絆が生まれた公演稽古でした。



2015年を振り返ってと2016年の抱負を聞きました！



福岡
藤川 心南

2015年を振り返って
夏公演「雪の女王」では、アンナ役を通じて、歌・ダンス・芝居に楽しんで取り組み、自分の課題も見つけました。

2016年の抱負
ドラマ・映画など、色々な事にチャレンジできたらいいなと思います。学校の勉強も一番目指して頑張ります！



福岡
加藤 心乃音

2015年を振り返って
ブリッツ公演と夏公演「雪の女王」に参加して、今まで苦手だった「感じた事を表現する」という事が少しずつ、出来る様になったと思います。

2016年の抱負
毎回のレッスンでは、具体的に色々な事を考えて出来る様に、色々な事にも挑戦していきたいです。



北九州
柿川 華

2015年を振り返って
夏公演「雪の女王」でアンナ役の練習をする中で難しい事もたくさんあったけど、本番では達成できてよかったです。

2016年の抱負
歌やダンス、演技がもっと上手になるように、難しいことにもたくさん挑戦出来る様になりたいです。



北九州
田良 結芽

2015年を振り返って
夏公演「雪の女王」で幼少期のカレン役として初めて歌を一人で歌う事ができてとても嬉しかったです。

2016年の抱負
色々な役を演じられるようにもっと演技の勉強をして、大好きな歌やダンスのお稽古も頑張りたいと思います。



北九州
松藤 百香

2015年を振り返って
北九州公演「オズの魔法使い」でト役を演じた時、ソロ場面が多く大変でしたがとても勉強になってよかったです。

2016年の抱負
これまでの舞台の経験を活かして、もっと歌やダンス、演技等を勉強して、色々な舞台で活躍したいです。



福岡
彌吉 優花

2015年を振り返って
先生方に大事な事を教えて頂き、皆で心一つに舞台を作る楽しさを強く感じる事が出来ました。

2016年の抱負
これからもっと歌やダンスや演技力を伸ばしていきたい、将来の夢へ一步一步向かっていきたいです！

❖ ステージレポート

新潟 新潟エクステンシヨスタジオ 第2回公演『モモ』



2015年10月11日(日)・
12日(月・祝)

全2回公演
会場/リゅーとぴあ新潟市民芸術
文化会館
原作/ミヒャエル・エンデ
翻訳/大島かおり
脚本・演出/栗田芳宏
作曲・指揮/後藤丹
衣裳/友好まり子
振付/今野知可子
歌唱指導/西潟明美
ヴァイオリン演奏/佐々木友子
ピアノ演奏/品田真彦

昨年春から第2回公演に向けて、ドイツの児童作家ミヒャエル・エンデの『モモ』を題材にミュージカル作品としてレッスンを続けてきました。今年8月に急遽、ストレートプレイへの変更を決めてから約3ヶ月、保護者の皆さま、たくさんの方々を支えられ、クリエイター、キャスト、スタッフ 一丸となって三幕4時間の大作が完成しました。

モモ役の阿部夏季、ジジ役の渡邊龍臣をはじめ研究生ひとりひとりが自分の役をしっかりと演じきりました。

栗田芳宏演じる、時を司るマイスター・ホラの言葉が肅々と劇場に響きます。『モモ』の全編に流れるメッセージは“時間とは、生きるということ、そのものだからです。そして人のいのちは心を住みかとしているからです。”

最後に祈りを込めて“みんな幸せになれ”と舞台からお客様にメッセージを送りました。

公演部 平成27年度全国銀行協会金融 犯罪防止啓発活動《ダメされない いで!～振り込め詐欺撲滅隊～》



2014年11月、全国銀行協会主催の「金融犯罪防止啓発イベント 家族で防ごう金融犯罪」で振り込め詐欺などの金融犯罪の再現劇を演じ、また、これをもとに作成したDVD映像が、全国の銀行のロビーなどで放映されています。

この詐欺犯罪は、2015年度も多額の被害を出していることから、再び全国銀行協会の発案のもと、全国各地で詐欺犯罪の再現劇を演じ、その劇をもとに警察や銀行協会の方が手口について説明、ご覧になった方々に注意喚起をするといったイベントが今年度も行われました。今回は、東京のひまわりだけでなく、福岡、大阪からも上演チームを作って取り組みました。私たちの再現劇が犯罪被害の防止の一助になれば幸いです。

名古屋 名古屋アクターズスクール専科発表会 愛知県芸術劇場小ホール



本年の名古屋9月舞台公演は、専科フェスティバルの形式を取り入れた発表会をおこないました。幼稚部から青年部まで各部の研究生が、演技、歌唱、ダンスをそれぞれ披露しました。

各部の公演クラスごとに「雪の女王」をテーマにした朗読劇、歌唱・ダンス発表をおこないました。夏休みの激しい稽古の成果は、確実に個人の実力を高めてゆくことと思います。

アンケートより

☆アットホームなサイズのホールで、とても良かったです。

構成がおもしろいと思いました。

後半の劇は、すべてをモノでなく、身体を使い、いろいろなことを表現していて、好感がもてました。どの出演者もいきいきと楽しそうで、すてきでした。

札幌 プロデュース公演 ミュージカル『星の王子さま』



日程：2015年9月20日(日)～22日(火・祝)
会場：生活支援型文化施設 コンカリーニョ

ミュージカル『星の王子さま』公演終了しました！

札幌で上演したミュージカル『星の王子さま』は、歌あり、ダンスあり、切なくもあたたかい作品となりました。公演は昨年同様トリプルキャストで実施し、小学生がメインキャストを務める回も上演しました。「ポロリと涙が出ました。」「何か大切なものに気づかされた気がします。」など、お客様からもたくさんのご好評をいただきました。来年はさらに進化した作品をお見せできるよう、表現の幅を広げていきたいと思います。

新潟 APRICOT&劇団ひまわり 合同特別公演『赤毛のアン』



2015年8月15日(月)～17日(土) 全5回公演

この夏、新潟市民芸術文化会館APRICOTの代表作のひとつ『赤毛のアン』を上演し、全5回公演で三千名余りのお客様にご覧いただきました。主人公アンを養女に迎える兄妹のマリラ役に日向薫、マシュー役に福島靖夫をゲストに招き、APRICOTのキャスティング・オーディションで選ばれた新潟エクステンシヨスタジオの研究生と、市民から選ばれた大人役のキャストと共に公演を作り上げました。

公演を通して、成長したアン役(Wキャスト)の吉田晏子、子どものダイアナ役の馬場花恋らをはじめとした出演者と新潟の演劇に携わる子どもたちの交流が生まれました。

★ 公演・発表会・イベント情報

東京

Dance Connection 2015～Hero～



※写真はDance Connection 2014のものです。

劇団ひまわり年末恒例のダンスイベント「Dance Connection」。

毎年東京で開催される劇団ひまわり2大ダンスイベントのひとつ「Dance Connection」は昨年に引き続き、今年もシアター代官山で開催されます。

今夏から各チームの参加者オーディションが開催され、厳しいオーディションを勝ち抜いた小学生から大人までの精鋭メンバーが集まりました。

集まったチームの仲間たちとともに約3ヶ月10数回と短い稽古期間のなかで集中して、自身のダンススキルとチーム全体の団結力に磨きをかけてべくレッスンに励んできました。

今年の参加チームは東京所属の総勢4チーム。大阪、福岡、名古屋と劇団ひまわりの各支社からも参加していた昨年に比べるとチーム数は少なくなりましたが、その分ギュッと濃縮したステージをお届けします。

振り付け、ステージングを担当するのは、普段から東京でレッスンを行っている4人のダンス講師。それぞれのチームメンバーの色をうまく引き出します。

ステージ衣装はチームメンバーたちが生地から縫製したり、装飾をつけてアレンジしたり、ダンスと一緒に自らの手で作り上げてパフォーマンスを彩ります。

今年の「Dance Connection」の総合テーマは「Hero」

チーム全員で作り上げたパフォーマンス、中でも埋もれてしまわない個性の輝き。メンバーひとりひとりがステージ上で繰り広げられる物語のヒーロー！主役です！

参加者全員の努力の結晶が12月下旬、クリスマスシーズンのシアター代官山に色鮮やかに舞い降ります。

今年の締めくくりに、年々パワーアップしていくダンスパフォーマンスをぜひご覧ください！

Dance Connection 講師陣をPickUp!



【近藤大介先生】

継続は力なり！年末恒例となったダンスコネクション。

いきなりですが、毎年の公演を続けていく中で、そろそろこの公演も転換期なのかな？と感じてい

ます。

生徒の皆さんのレベルは、年々上がってきています。

ただ、外部のダンサーと比べるとまだ追いつくレベルまで達していません。

そこで、クラスごとの垣根を取っ払い、皆さんのスキルをさらにアップさせるプログラムを設け、将来的には世界に通用するダンスカンパニーを作ればと、たくらんでいます。(笑)

皆さんの可能性は無限大です。その可能性をさらに飛躍させられる様、微力ではありますがお手伝い出来ればと思う今日この頃です。

今年のダンスコネクション、そんな夢をよりリアルに感じさせてくれる舞台になる事を楽しみにしています！



【関山千香子先生】

心と身体を研ぎ澄まして、一つ一つの作品を《表現すること》に込めて行きたいと思っています。

シアター代官山の舞台でひととき、心躍る素敵な時間をお届け出来たら…そんな想いを胸に、メンバー一堂頑張っています。魅力的な《ダンス・ドラマ》を目指して！



【松田紀子先生】

毎年違うメンバーで構成されるのが、このDance Connection。

私もチームを持たせて頂いてから今年で8回目を迎えます。

1回目から参加のメンバー、今回1回目を迎えるメンバー、そして今まで関わってきたメンバー…本当にたくさんの人達と出会ってきました。

今年も新しい顔ぶれで、パワーアップしたDanceをお届けできるよう頑張っていきたいと思います。



【福沢亜希子先生】

ダンスコネクション2015。今年のFun Fun FunnysはCOLORをテーマにお届けします。始まり…無垢…Puarなイメージの白。

黒・赤・水色…画用紙

にカラフルな彼女達のCOLORを描くようなステージをお届けします。

彼女達自身、自分のCOLORを見つけられる様なそんな舞台を目指します。

年末恒例のダンスイベント、ダンスコネクション2015皆様是非劇場に観にいらして下さい!!

【公演概要】

公演名：Dance Connection 2015

～Hero～

日程：2015年12月19日(土)～
12月23日(水・祝)

会場：シアター代官山

公式サイト：

<http://www.himawari.net/school/kanto/tokyo/news/1278.html>



大阪 Dance Festival 2015



※写真は、昨年、Dance Festival 2014のものです

ダンスを行います。1年の成長の成果を是非ご覧ください。

【公演概要】

公演名：Dance Festival 2015

日程：12月19日(土)、20日(日)

会場：大阪市立青少年センター KOKOPLAZA

公演の情報はこちら



東京 Smash公演「影をなくした娘」



脚本家横山一真氏が書き下ろした「影をなくした娘」に、オーディションで選ばれた研究生が挑戦いたします。自らの美しさに見惚れるあまり、心優しい青年エリックに冷たく接してしまい妖精たちの怒りを買って影をなくしてしまった娘・ラモーナ。彼女は真実の愛に気が付き影を取り戻すことができるのでしょうか？演出家の山下晃彦氏、音楽家の和田啓氏と共につくりだす舞台にどうぞご期待ください！

<キャスト>

ラモーナ：三村ゆうな／三好心／百鳥花笑

エリック：小幡晃聖／北村真一郎
オンディーヌ：國立幸／平山祥他

【公演概要】

公演名：Smash公演「影をなくした娘」

日程：2016年2月4日(木)～7日(日)

会場：シアター代官山

公演の情報はこちら



東京 邦劇公演「誘拐-かどわかしー」



※写真は昨年の写真です。

～ある日 江戸の剣客、天童梅太郎は旅館の女中おさきから旧知の仲である清十郎が誘拐された事を知らされる。梅太郎はすぐさま情報を集め、清十郎の救出へと向かう～

日本舞踊、所作、殺陣、擬斗を中心とした、時代劇にとどまらない演劇スタイル「邦劇」を第51期研究科の面々がお送りします。第14期研修科による日本舞踊の発表も併せてご覧下さい。

【公演概要】

公演名：第51期研究科 邦劇公演

「誘拐-かどわかしー」

日程：12月13日(日) (全2公演)

会場：シアター代官山

公演の情報はこちら



東京 踊り初め



※写真は昨年の写真です。

年の初めは羽根つき、凧揚げ、「踊り初め」。

今年も老若男女問わずたくさんの研究生が、新年最初の舞い踊りをご披露いたします。

藤間藤三郎先生をはじめとした藤間流の先生方と共に研鑽を積んだ成果をどうぞご覧ください。

入場無料となっておりますので、皆様お誘い合わせの上、是非お越しくださいませ。

【公演概要】

公演名：踊り初め

日程：2016年2月11日(木・祝)

会場：シアター代官山

公演の情報はこちら



北九州 チルドレンズ



※写真は昨年の写真です。

2016年3月、去年夏に上演されたミュージカル「チルドレンズ」を、北九州エクステンションスタジオの研究生で上演致します。

明るく元気な曲にのせて、いっぱいのお愛をお届けできるよう稽古に励みます。

北九州の笑顔で溢れる公演、是非ご期待下さい。

作詞・台本：砂岡誠

演出：立石はるな

音楽：的場英也

【公演概要】

公演名：チルドレンズ

日程：2016年3月5日(土)

会場：北九州市立

男女共同参画センター ムーブ

公演の情報はこちら



大阪 Dance Festival 2015



※写真は、昨年、Dance Festival 2014のものです

劇団ひまわりは「感謝・誠実・思いやり」という理念のもと、演技やダンス、歌を通して子どもたちの育成と才能の開花に努めてまいりました。

毎年恒例のDance Festivalでは、一生懸命稽古に取り組み、和気あいあいとしている姿に「劇団ひまわりらしさ」を感じます。

先生方、保護者の皆様、キャスト、スタッフなど公演に関わる全ての方々に支えられているイベントの1つです。

幼稚園児から青年まで、ジャズダンス、クラシックバレエ、HIPHOP、アクション等、世代やジャンルを超えてパフォーマンスを行います。1年の成長の成果を是非ご覧ください。

【公演概要】

公演名：Dance Festival 2015

日程：12月19日(土)、20日(日)

会場：大阪市立青少年センター KOKOPLAZA

公演の情報はこちら



東京 Smash公演「影をなくした娘」



脚本家横山一真氏が書き下ろした「影をなくした娘」に、オーディションで選ばれた研究生が挑戦いたします。自らの美しさに見惚れるあまり、心優しい青年エリックに冷たく接してしまい妖精たちの怒りを買って影をなくしてしまった娘・ラモーナ。彼女は真実の愛に気が付き影を取り戻すことができるのでしょうか？演出家の山下晃彦氏、音楽家の和田啓氏と共につくりだす舞台にどうぞご期待ください！

<キャスト>

ラモーナ：三村ゆうな／三好心／百鳥花笑

エリック：小幡晃聖／北村真一郎
オンディーヌ：國立幸／平山祥他

【公演概要】

公演名：Smash公演「影をなくした娘」

日程：2016年2月4日(木)～7日(日)

会場：シアター代官山

公演の情報はこちら



東京 邦劇公演「誘拐—かどわか—」



※写真は昨年の写真です。

～ある日 江戸の剣客、天童梅太郎は旅館の女中おさきから旧知の仲である清十郎が誘拐された事を知らされる。梅太郎はすぐさま情報を集め、清十郎の救出へと向かう～

日本舞踊、所作、殺陣、擬斗を中心とした、時代劇にとどまらない演劇スタイル「邦劇」を第51期研究科の面々がお送りします。第14期研修科による日本舞踊の発表も併せてご覧下さい。

【公演概要】

公演名：第51期研究科 邦劇公演

「誘拐—かどわか—」

日程：12月13日(日) (全2公演)

会場：シアター代官山

公演の情報はこちら



東京 踊り初め



※写真は昨年の写真です。

年の初めは羽根つき、凧揚げ、「踊り初め」。

今年も老若男女問わずたくさんの研究生が、新年最初の舞い踊りをご披露いたします。

藤間藤三郎先生をはじめとした藤間流の先生方と共に研鑽を積んだ成果をどうぞご覧ください。

入場無料となっておりますので、皆様お誘い合わせの上、是非お越しくださいませ。

【公演概要】

公演名：踊り初め

日程：2016年2月11日(木・祝)

会場：シアター代官山

公演の情報はこちら



北九州 チルドレンズ



※写真は昨年の写真です。

2016年3月、去年夏に上演されたミュージカル「チルドレンズ」を、北九州エクステンションスタジオの研究生で上演致します。

明るく元気な曲にのせて、いっぱいのお愛をお届けできるよう稽古に励みます。

北九州の笑顔で溢れる公演、是非ご期待下さい。

作詞・台本：砂岡誠

演出：立石はるな

音楽：的場英也

【公演概要】

公演名：チルドレンズ

日程：2016年3月5日(土)

会場：北九州市立

男女共同参画センター ムーブ

公演の情報はこちら



★ 公演・発表会・イベント情報

東京 砂岡事務所プロデュース公演『プリズンホテル 夏』

幅広いジャンルの作品を手がける人気作家浅田次郎原作の傑作コメディを舞台化！
ドラマやバラエティで活躍中の赤塚真人を客演に迎え、
2016年第一弾、新しい砂岡事務所プロデュース作品としてお届けします。



木戸孝之介 近藤大介
木戸仲蔵 赤塚真人
黒田 旭/花沢一馬 鈴木近雄
黒田 旭/花沢一馬 横山 敬
黒田千恵子 天宮菜生



若林隆明 福島靖夫
若林志保 芝原洋子
大曾根 勉 今野忠明
梶 平太郎 木村圭吾
服部正彦 伊藤アルフ
矢野政夫 中島 匠



田村清子 宇田彩花
山田 十三 豊
番頭 中村ノゾム
アニタ 池田あやこ
ゴンザレス 山本裕之
花沢 繁 佐藤 純



小田島仙次/安 石原智彦
小田島仙次/安 豊田 豪
小田島みゆき 岩田麻衣子
ミシェル 鎌野紗恵子
ジョイ 河内美樹
ダイアナ 神田朝香



ジャスミン 高村琴乃
ジェニー 西田薫子
大曾根組若者 宮崎貴宜
刑事1 ほか 中島幸一
刑事2 ほか 渡邊拓也
従業員ほか 河野 耀



子供時代の孝之介 上田 弦
子供時代の孝之介 大河原爽介
小田島あかり 相澤絵里菜
小田島あかり 中山珠莉
小田島あかり 中山美莉
小田島あかり 藤巻有紗



小田島まこと 櫻井優輝
小田島まこと 室伏佑哉
小田島ともし 吉田 空



【公演概要】

砂岡事務所プロデュース公演「プリズンホテル 夏」

原作：浅田次郎 著 「プリズンホテル 夏」

集英社文庫刊

プロデューサー：砂岡不二夫

企画・発案：鈴木近雄 横山敬 近藤大介

脚本・演出：近藤大介

美術：尼川ゆら

照明：重松希代子

照明操作：川井桃子

音響：大谷拓弥

舞台監督：鈴木晃司

宣伝美術：稲垣純

公演期間：2016年1月21日(木)～1月31日(日)

1/21(木) 19:00開演

1/22(金) 19:00開演

1/23(土) 13:00開演 17:00開演

1/24(日) 13:00開演 17:00開演

1/25(月) 19:00開演

1/26(火) 19:00開演

1/27(水) 19:00開演

1/28(木) 19:00開演

1/29(金) 19:00開演

1/30(土) 13:00開演 17:00開演

1/31(日) 13:00開演 17:00開演(千秋楽)

会場：シアター代官山

チケット料金：4,000円(全席自由席)

制作：砂岡事務所

公演情報はここから

http://sunaoka.com/stage/prison_hotel/



劇団の視点



劇団ひまわり
総合計画室 室長
砂岡 誠
(早稲田大学招聘研究員)

メディアにおける 演劇・俳優の役割(4)

本稿ではこれまでに、日本の演劇システムと西欧システムとの成り立ちの違いや、メディアにおける演劇や俳優の役割について3回にわたりレポートしてきましたが、本号では総括とします。環太平洋経済連携協定（TPP）の交渉が大筋で合意されたものの、著作権関係では、現在の50年から70年の保護期間に延長されることになりました。欧米は古い作品を持ちメリットがありますが、日本はデメリットが目立ち、今後の日本モデルを確立しなければ、本当の文化立国とはいえません。このように、演劇や俳優に託された課題は大きいといえます。

「メディアとは何か？」

メディア（Media）はラテン語の英語読みmediumの複数形であり、「間にあるもの」や「媒介するもの」を指しますが、人や社会に役に立つという本質的な意味があります。また、演劇は第七芸術（文学・音楽・絵画・彫刻・舞踊・建築につづく）であり、演劇や俳優にはメディアとしての果たすべき役割があります。すなわち、人や社会のために役立つものとして存在しなければならないのです。私たちは、マスコミという言葉を使い、多くはテレビ・新聞・雑誌・ラジオなどの総体としてイメージしていますが、それらは商業的な側面だけでなく、メディアとしての機能や役割も求められているのです。結論からいえば、「芸術性」「市場性」「社会性」の3特性を持つ舞台芸術における演劇や俳優の役割は、人や社会に役立つものでなければなりません。西欧のシステムでは、より高度な理論や技術が求められるために、知的階層に学ぶアカデミズム（Academism）の傾向が強くなりますが、今日においては偏りを避けるために、その対語としてあるジャーナリズム（Journalism）の思考も必要とされ、卓越したメディアリテラシーが必要とされているのです。



「雪の女王」



「モモ」新潟公演



「チルドレンズ」

「SNS・IoT と 物語の世界」

情報通信技術の発達は、近い将来にIoT（Internet of Things）という、モノとモノが自律的に考えるシステムが確立していくとも言われています。私たちの持っているSNSでは、使い方さえ覚えてしまえば、瞬時に情報を世界中に発信することが可能です。これまで、テレビや映画、新聞、雑誌などに登場する憧れの芸能マスコミ人と同じように、誰でもがメディアとして自己表現していくことが出来ます。一方で、前述したようにメディアとしての演劇や俳優には役割が求められているので注意が必要です。重要なことは、インターネットにはまだ、人間を感動させる「物語」を創造する機能がないことです。市場性の強いゲームや漫画、アニメの物語は人間が考えたものですが、人間の希求する理想社会実現のためには社会性・芸術性が込められた物語を創造していくことも求められているのです。

英国の進化生物学者・リチャード・ドーキンスは、著書「利己的な遺伝子」で世界的に知られますが、ドーキンスは人間だけが自然界で唯一、大切なものを命がけで守る特性を遺伝子（ジーン＝Gene）とは別に、ミーム（Meeme）と命名し、物語の特性を持つと論じています。妄想的ながらも、人間だけが持つ「物語」の特性は、人が生きていく上で必要なものであると考えられます。このように、人間がメディアとしての舞台芸術や映画、音楽などの創作を通して、人々が享受し、文化的多様性を認め合っていくことは大切なことであり、演劇や俳優に関わる人々が持つべきミッションです。創造集団の必要性がここにあります。

「演劇の集団活動とオーケストラ理論」

舞台芸術における演劇活動は、オーケストラの集団活動理論と同じです。素晴らしい演奏のために全員が一つになる思想が有益となるのです。一人一人がバラバラでは演奏会は成り立たず、ドラマも成立しません。確かなミッションを持った創造集団からは、スターシステムのもとに素晴らしい人材が誕生します。そこでは、集団である「場」の存在と維持が重要であり、「場」をドライブコントロールすることが舞台芸術のマネージメントとして最も大切なことです。

劇団ひまわりの「チルドレンズ」「雪の女王」や「モモ」新潟公演などは「創造集団」と「場」を強く意識した取り組みなのです。

「俳優を目指す人たちへ」

これまで述べたように、日本では明治期の演劇改良運動以降、演劇が制度化されることがありませんでした。このため、演劇が生き延びるために市場性が強くなってしまったこと、義務教育課程において演劇体験や表現教育が受け入れられなかったこと、が日本の特別な事情です。逆にいえば、日本で俳優を目指す場合、市場的に受け入れられなければNGである、ということになり、俳優を目指す人以外は演劇を学ぶ機会がないこととなります。国立大学に演劇学科がないことがそのことを立証していますが、前号で紹介したリンカーンセンターの例と比較しても、日本が文化立国を目指すには明らかに不備があるといえます。俳優を目指す人たちは、これまでレポートした問題点を理解した上で、将来に向けた活動を目指して欲しいと願っています。ポイントは、演劇や俳優は我流ではなく、1) 豊富な理論と経験のもとに成立していくこと、2) 市場性だけに偏らずに社会性や芸術性を常に意識していくこと、です。また、義務教育課程までの人々にとっては、学校での勉強だけでなく、日常生活での美德の習得努力と人間力を高める経験を心がけることが大切です。

最後になりますが、インターネットの発達したグローバルな世界は、情報の発信物である商品が顧客とつながることを意味しています。メディアとしての俳優自身や、演劇から創出される生産物がネット空間を浮遊する環境のなかで、真に大切なことは生産物または商品自体の完成度です。漫画、アニメ、ゲームなど経済効果があるにしても、市場性に偏った文化は市民性に歪が生じ、極めて危険です。人や社会に役立つ「物語」を創るのは人間だけでなく、確かな理論と技術を持った演劇や俳優を目指す人たちにこそ求められるのです。

全国の劇団ひまわり

劇団ひまわりには全国5カ所に俳優養成所・アクターズスクールがあり、さらに週末にレッスンを行う「エクステンションスタジオ」が15カ所、合わせて20カ所で活動しています。

東京俳優養成所



〒150-0021
東京都渋谷区恵比寿西2-12-12
TEL : 03-3476-0077
FAX : 03-3476-1439

千葉エクステンションスタジオ



京葉銀行文化プラザ
〒260-0015
千葉県千葉市中央区富士見1-3-2

さいたまエクステンションスタジオ



大宮ソニックシティ・
ソニックホール
〒330-8669
埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5

仙台エクステンションスタジオ



文化センターあおぼホール
〒980-0021
宮城県仙台市青葉区中央4-4-8

横浜エクステンションスタジオ



吉野町市民プラザ
〒232-0014
神奈川県横浜市南区吉野町5-26

新潟エクステンションスタジオ



NST新潟総合テレビ本社
〒950-8572
新潟県新潟市中央区八千代2-3-1

大阪俳優養成所(江坂)



〒564-0062
大阪府吹田市垂水町3-35-36
TEL : 06-6369-2202
FAX : 06-6386-7720

大阪俳優養成所(梅田)



〒530-0013
大阪府大阪市北区茶屋町1-7
梅田カルチャー

京都エクステンションスタジオ



メルパルク京都
〒600-8216
京都府京都市下京区東洞院通七条下ル
東塩小路町676-13

神戸エクステンションスタジオ



神戸国際会館
〒651-0087
兵庫県神戸市中央区御幸通8-1-6

岡山エクステンションスタジオ



ドレミの街
〒700-0023
岡山県岡山市北区駅前町1-8-5

金沢エクステンションスタジオ



北國新聞会館
〒920-8588
石川県金沢市南町2-1

福岡アクターズスクール



〒810-0042
福岡県福岡市中央区赤坂1-13-10
赤坂有楽ビル
TEL : 092-752-1077 / FAX : 092-752-1044

熊本エクステンションスタジオ



くまもと県民交流館パレア
〒860-8554
熊本県熊本市中央区手取本町8-9
テトリアくまもとビル

北九州エクステンションスタジオ



北九州市立大手町練習場
〒803-0814
福岡県北九州市小倉北区大手町11-4
大手町ビル

沖縄エクステンションスタジオ



タイムスビル
〒900-0015
沖縄県那覇市久茂地2-2-2

名古屋アクターズスクール



〒460-0002
愛知県名古屋市中区丸の内2-8-5
TEL : 052-253-6077
FAX : 052-253-8911

静岡エクステンションスタジオ



グランシップ
〒422-8005
静岡県静岡市駿河区池田79-4

浜松エクステンションスタジオ



アクトシティ浜松
〒430-7790
静岡県浜松市中区板屋町111-1

札幌俳優養成所



〒060-0004
北海道札幌市中央区北4条西5-1
アスティ45 1階
TEL : 011-210-7000 / FAX : 011-232-7000

旭川エクステンションスタジオ



マルカツデパート
〒070-0032
北海道旭川市二条通7-227-1

劇団ひまわり Himawari Theatre Group Inc.

〒150-0021

東京都渋谷区恵比寿西2-12-12
03-3476-0077

pr@himawari.net

「Here Comes the Sun」は劇団ひまわりが発行するフリーペーパー・マガジンです。劇団所属の俳優・研究生・関連プロダクションに所属する俳優の活動や、映画・舞台・テレビ等のメディア出演情報、全国の俳優養成所ニュースを中心に、毎月バラエティ豊かな内容でお送りいたします。現在、この「Here Comes the Sun」を置いていただける施設・団体・お店等を募集しています。ご希望の方は pr@himawari.net まで、団体名・担当者氏名・お届け先住所・電話番号・希望部数を明記の上ご連絡ください。

©2015 Himawari Theatre Group Inc. 本誌記載の記事・写真の無断転載および複写を禁じます。



Here Comes the Sun vol.9

2015年12月1日 発行

制作 株式会社劇団ひまわり
企画 / 発行 砂岡不二夫
編集 劇団ひまわり広報部
印刷 株式会社サンエー印刷

ひまわり通算242号





砂岡事務所プロデュース「プリズンホテル 夏」

Here Comes the Sun Vol.9
Himawari Theatre Group Inc.